

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	観光誘客事業				事業通番	4351	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	緊急雇用創出事業臨時特例交付金（単年度事業分）交付要綱 会津美里町観光振興計画					
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、県や近隣市町村と連携して、町の特産品や観光をPRし、誘客促進を図る。					
対象（誰、何を）	観光客					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	関係機関と連携しながら、町の観光資源などの情報を積極的に発信することによって、観光客がその情報を入手し来訪する。					
成果の考え方	A：町内の宿泊施設への聞き取りにより、宿泊数を把握する。 B：町内の主要な観光施設やイベントの入込数を把握する（福島県観光客入込状況による公式数値を使用）。					
【成果指標】					単位	
A	町内宿泊施設への宿泊数					人
B	観光入込客数					人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	15,853	14,500	15,215	14,504	14,394
国庫支出金		11,942	12,671	13,239	12,921
県支出金					
地方債					
その他		1,000	1,683		
一般財源	15,853	1,558	861	1,265	1,473

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	11,969	12,646	13,323	14,000
	9,297	10,235	11,549	9,549	4,417
B	-	2,074,900	2,083,200	2,091,500	2,100,000
	1,856,933	1,743,372	1,619,244	1,526,930	853,760

(3) 活動実績及び成果

活動実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の活動を行うことができなかったが、次の活動を行った。 ・首都圏や町内外でのイベントで、観光や物産のPRを実施した。 ・近隣市町村との連携による広域観光事業を実施した。
成果	・緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用したキャラバン隊の活動により、町の産品や観光情報を、各種イベントや首都圏、Web等で広くPRし誘客促進を図った。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
新型コロナウイルス感染症の終息後は、外出自粛の反動による観光産業の活性化が見込まれるため、関係機関とも連携し観光誘客活動と情報発信の再構築により観光客の誘客を図る。	
成果の方向性	拡充 (理由) 情報発信の充実等観光客受入れ体制の整備を図り、コロナ禍の終息により実施される観光キャンペーンを活用し誘客を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	観光対策事業				事業通番	4358	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光対策事業補助金交付要綱 会津美里町観光振興計画					
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、観光協会が実施する各種イベントや観光ガイド活動等に補助を行うと共に、観光施設等の維持管理や観光資源の整備を行う。					
対象（誰、何を）	町民及び観光客					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	的確な情報発信を行うことで、町のイベント情報や観光情報を知り、入込客数が増加する。					
成果の考え方	A イベント（ふれあい茶会・あやめ祭り・せと市・ワイン祭り・大俵引き・文殊祭・ヒルクライム・御田植祭・秋季祭礼・そば祭り）の入込客数を把握することで、観光協会の情報発信の努力成果を確認できる。 B 観光ガイドの利用件数を把握することで、観光客の関心度合いを把握できる。					
【成果指標】						単位
A イベントの入込客数						人
B 観光ガイド利用件数						件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	44,115	43,985	43,577	42,857	23,900
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他				3,186	147
一般財源	44,115	43,985	43,577	39,671	23,753

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	253,500	254,500	255,500	256,500
	234,630	206,250	192,400	155,000	200
B	-	62	63	66	70
	68	109	78	58	0

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントが中止となったが、次の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携しイベントの開催支援や、各種イベントの補助を行った。 観光施設の美化作業を実施した。 観光素材等についての情報提供（電話による問い合わせ対応、パンフレット等の送付など）を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> イベントの来場者数については、対象となるイベントの多くが中止となったため大幅に減少した。 観光ガイドの件数については、有料化のや新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】	観光協会と連携し、観光情報発信の充実、既存イベントのリニューアルなど観光事業の再構築により誘客活動に取り組む。		
成果の方向性	拡充	(理由)	観光客入込数を増加させるため、新たな観光事業に戦略的に取り組む。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	温泉施設管理事業				事業通番	4362	
					開始年度	平成17年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	温泉施設管理費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町温泉施設等条例・会津美里町温泉施設等条例施行規則					
事務事業の概要	町内温泉施設等（高田温泉あやめの湯、本郷温泉湯陶里、新鶴温泉健康センター、ほっとぴあ新鶴）の管理運営業務を、指定管理者制度を活用し管理委託する。					
対象（誰、何を）	高田温泉あやめの湯、本郷温泉湯陶里、新鶴温泉健康センター、ほっとぴあ新鶴					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	適切な維持管理及び経営により、入館者の増加を目指す。					
成果の考え方	適正な管理によって、利用者の満足度が上がり、利用者の増加へとつながっていくことと考えられることから、該当施設への聞き取りを行い、入館者を確認していく。					
【成果指標】						単位
A 入館者数						人
B -						-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	44,162	52,341	53,336	57,379	75,414
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他				6,838	
一般財源	44,162	52,341	53,336	50,541	75,414

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	286,000	283,000	286,000	280,000
	266,234	268,110	267,183	262,064	202,178
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 温泉施設等の指定管理委託料として、54,625,000円を支出した。 維持改修工事として、あやめの湯4箇所、湯陶里5箇所、新鶴温泉健康センター・ほっとぴあ新鶴8箇所を実施した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 4施設合計の入館者数は、対前年比で59,886人減少した。（新型コロナウイルス感染症の影響による営業自粛により、稼働日数が減ったため） 本郷温泉湯陶里を民間へ売却した。 ほっとぴあ新鶴の宿泊者から騒音の苦情が出ていたロビーファンについて交換工事を行い解消した。3温泉施設の老朽化した機械、設備などを新しくし、利便性を向上させた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	新型コロナウイルス感染症の影響と施設の老朽化の進行により利用者が減少しているが、施設管理を適正に行い利用者の安心安全を確保し満足度を高める取り組みを行う。	
成果の方向性	縮小	(理由) 温泉施設等の利用者の増加は困難であり、施設運営のための経費削減は困難な状況にある。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	観光まちづくり推進事業				事業通番	14393		
					開始年度	平成27年度		
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	令和7年度	
	施策	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費		担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費		重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画 会津美里町観光振興計画アクションプラン	
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、既存組織や住民の協働による観光を通じた地域づくりを行うとともに、町の観光の推進体制を構築するため、会津美里版DMOの設立に向けて、事業展開していく。	
対象（誰、何を）	観光客	
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	観光関連の情報発信等を通して、来訪者（観光客）の拡大につなげつつ、そうした来訪者の町内での消費額拡大を図る。	
成果の考え方	会津美里町観光振興計画では、「一人当たりの観光消費額」と「観光入込客数」を全体目標に掲げているため、以下の2つを成果として設定する。 A：主な観光関連施設から入込数や売上額等のデータを集計し、観光消費額を把握する。 B：観光施設における入込客数（寺社参拝者、温泉施設等、観光消費額が発生しない施設を除く）を集計し、消費額の動向を把握する。	
【成果指標】		単位
A 一人当たりの観光消費額		円
B 観光施設における入込客数		万人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	6,223	2,255	4,379	1,176	7,153
国庫支出金					
県支出金		1,790	2,500	120	2,500
地方債					
その他			1,000		
一般財源	6,223	465	879	1,056	4,653

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	3,085	3,296	3,508	3,720
	2,469	2,655	2,685	2,527	2,400
B	-	6.5	6.6	6.7	6.8
	5.2	5.5	5.7	5.1	4.5

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光まちづくり推進協議会を4回開催し、1回目の会議では前年度の事業評価と効果検証を行い、2回目から4回目の会議では今後5年間の町の観光について審議し、会津美里町後期観光振興計画の策定について協議を行った。 アクションプランにおける事業として、情報発信力を高めるため観光百人衆等を対象にイベント型ワークショップを2月27日に開催し、5名の参加者があった。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 観光まちづくり協議会にておいて、今後5年間の町観光について審議し、会津美里町後期観光振興計画を策定した。 イベント型ワークショップにて観光百人衆等の情報発信力の向上につながった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	法人化後の観光協会と観光関係者との連携により、観光推進体制を強化し後期観光振興計画に基づいた取組を推進する。	
成果の方向性	拡充	(理由) 法人化後の観光協会と観光事業者等との連携により、観光事業の推進に必要な組織の設立に向けて準備を進める。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	訪日旅行施策事業				事業通番	14417		
					開始年度	平成25年度		
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	--	
	施策	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費		担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費		重点プロジェクト	該当

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画・会津美里町観光振興計画アクションプラン						
事務事業の概要	広域連携事業として、会津地域7市町村で構成するプロジェクト組織において作成されたウェブサイト「VISIT AIZU」を通して、データに基づく適切なプロモーションを実施する。また、町内の観光施設7箇所に設置したフリーWi-Fi設備及び多言語観光アプリの維持管理を行い、それぞれの利用状況を把握・分析しながら、効果的なインバウンド事業の実施へ活かす。						
対象（誰、何を）	外国人観光客						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	情報発信や受入環境の整備により誘客を図ることで、本町を訪れる外国人観光客数が増加する。						
成果の考え方	A:デジタルDMOで作成した「VISIT AIZU」のHPのアクセス数を把握することで、情報発信の充実度、会津に対する外国人観光客の興味の高さを判断できる。 B:町内の宿泊施設へ聞き取りを行い外国人の来訪状況を調査することで、実際に本町を訪れた外国人観光客数の推移及び傾向が把握できる。 平成29年度まで、成果指標A「Wi-Fi設置箇所（観光施設）への来訪者数（外国人のみ）」 ※平成30年度より事業通番14870「デジタルDMO推進事業」を本事業へ統合したことによる成果指標の変更。						
【成果指標】							単位
A デジタルDMOサイトのページビュー数							人
B 宿泊者数（外国人のみ）							人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	4,851	2,237	4,940	7,521	4,033
国庫支出金			2,062	1,501	1,291
県支出金				2,380	
地方債					
その他		2,200	2,800		
一般財源	4,851	37	78	3,640	2,742

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	50	450,000	500,000	550,000
	1	23	197,081	139,107	109,565
B	-	180	180	500	500
	102	74	69	102	2

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> デジタルDMOプロジェクトウェブサイト「VISIT AIZU」におけるGoogleやfacebookへの広告出稿による会津地域のPR及び閲覧者の分析調査、ワークショップ開催した。 日本語の他4言語に対応した観光ナビゲーションアプリ「指さしナビ」の維持管理及び町内7箇所に設置したフリーWi-Fiの維持管理を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> デジタルDMOプロジェクトウェブサイト「VISIT AIZU」では、アフターコロナを見据え、広告出稿国を台湾・タイ・豪州に改めたうえで、コロナ後の会津地域への誘客に繋げた。また、事業者への事業内容の説明や意見交換を行うワークショップを開催し、事業者巻き込み型を目標としたプロジェクトへの深化を図った。 観光アプリ「指さしナビ」では、日本人130件、外国人8件のダウンロード実績があった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	近隣市町村や観光事業者と連携し、新型コロナウイルス感染症収束後の訪日旅行客の受入体制を整備する。	
成果の方向性	現状維持	(理由) 新型コロナウイルス感染症の収束後は、外出自粛の反動や国を挙げての観光キャンペーンが実施される予定のため、大きな観光需要が見込まれることから情報発信や受入体制の整備を行う。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	温泉施設等利活用事業				事業通番	14591	
					開始年度	平成28年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	令和3年度	
	施策	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	温泉施設管理費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町公共施設等総合管理計画（会津美里町温泉施設利活用処分方針）					
事務事業の概要	温泉施設等の利活用のために、利活用処分計画を募集し、利活用計画案をまとめる。					
対象（誰、何を）	町所有の温泉施設及び宿泊施設					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	利活用の方策を募集して、利活用処分計画を決定する。					
成果の考え方	会津美里町温泉施設利活用処分方針に基づき、どれだけ統廃合が進んでいるか確認できる。					
【成果指標】						単位
A 温泉施設利活用処分等検討委員会の開催回数						回
B 利活用処分が決まった施設の数						棟

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	32	32	3,265	155	69
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	32	32	3,265	155	69

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	2	3	3	2
	0	0	2	2	2
B	-	4	1	1	1
	0	0	0	1	1

(3) 活動実績及び成果

活動実績	温泉施設利活用処分に関する住民説明会を3地域で実施した。 温泉施設利活用処分等検討委員会を開催し、譲渡先候補法人が決定した本郷温泉湯陶里以外の温泉施設等の利活用処分方針について検討を行った。
成果	本郷温泉湯陶里を民間事業者に譲渡し、令和3年4月から営業を開始することになった。 住民説明会を開催し、新鶴温泉健康センター及びほっとびあ新鶴の民間譲渡の必要性と、高田温泉あやめ湯の温泉湯量の著しい減少など現状の説明を行った。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	新鶴温泉健康センター及びほっとびあ新鶴の民間売却及び高田温泉あやめ湯の利活用処分について、住民説明会や温泉利活用処分等検討委員会等の意見を参考にして推進する。	
成果の方向性	現状維持	(理由) 新鶴温泉健康センター等の民間売却を進めるとともに、高田温泉あやめ湯の利活用処分方針を決定する。